

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(年金つみたて向け)  
 (愛称:つみたてGGO)

◆ファンドの特色

元本確保型の商品ではありません

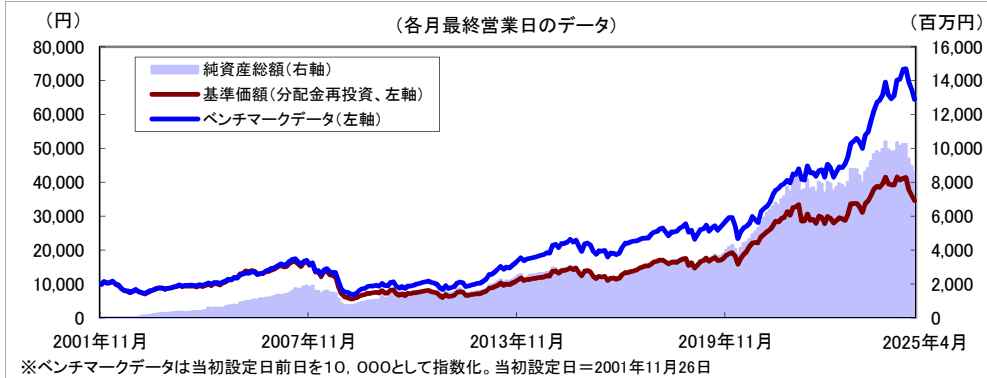
- ・主な投資対象 …… アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド受益証券
- ・ベンチマーク …… MSCIワールド・インデックス(配当金込み、円ベース)<sup>※</sup>
- ・目標とする運用成果 …… ベンチマークを上回る運用成果を目指します

<sup>※</sup>MSCIワールド・インデックス(配当金込み、円ベース)は、MSCIワールド・インデックス(配当金込み、米ドルベース)をもとに、わが国の対顧客電売相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。

◆基準価額、純資産総額

基準価額	34,658円
純資産総額	86億円

◆基準価額の推移グラフ



◆資産構成

株式	96.5%
株式先物	0.0%
株式実質	96.5%
現金等	3.5%

※実質組入比率を記載しています。

◆為替ヘッジ

為替ヘッジ比率	0.0%
---------	------

※実質比率を記載しています。

◆ファンド(分配金再投資)とベンチマークの収益率とリスク(標準偏差)

	3か月間	6か月間	1年間	3年間	5年間	10年間	当初設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	-16.26%	-16.61%	-10.07%	6.44%	14.47%	9.34%	5.49%
ベンチマーク収益率	-12.24%	-8.05%	0.42%	14.63%	20.44%	11.20%	8.33%
差異	-4.02%	-8.56%	-10.49%	-8.19%	-5.97%	-1.86%	-2.84%
ファンドリスク(分配金再投資)	---	---	14.72%	15.71%	16.42%	17.22%	19.09%
ベンチマークリスク	---	---	14.71%	14.33%	14.72%	16.40%	17.96%

\*3年間、5年間、10年間、当初設定来のデータは年率換算。

\*ファンド収益率(分配金再投資)とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。

◆株式国別配分上位

国	組入比率
1 アメリカ	55.7%
2 ブラジル	7.5%
3 イギリス	6.7%
4 カナダ	4.4%
5 日本	4.2%
6 スイス	3.3%
7 アイルランド	3.0%
8 台湾	2.8%
9 香港	2.0%
10 オランダ	1.8%

※実質組入比率を記載しています。

※国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。

※株式業種配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

◆株式業種配分上位

業種	組入比率
1 情報技術	31.3%
2 資本財・サービス	19.7%
3 金融	17.4%
4 ヘルスケア	14.0%
5 一般消費財・サービス	6.3%
6 公益事業	5.0%
7 エネルギー	2.7%
8 -	-
9 -	-
10 -	-

◆株式組入上位10銘柄

(組入銘柄51銘柄)

銘柄名	組入比率	国
1 マイクロソフト	3.7%	アメリカ
2 ロンドン証券取引所グループ	3.0%	イギリス
3 メルカドリブレ	2.8%	ブラジル
4 台湾セミコンダクター	2.8%	台湾
5 フレックス	2.7%	アメリカ
6 カメコ	2.7%	カナダ
7 アルコン	2.7%	アメリカ
8 サンパウロ州基礎衛生公社	2.6%	ブラジル
9 ファイサー	2.4%	アメリカ
10 ベラルト	2.4%	アメリカ

※実質組入比率を記載しています。

※上記銘柄は当ファンドの運用内容の説明のためのものであり、アライアンス・バーンスタイン株式会社が推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

※比率はそれぞれの項目を四捨五入していますので、表示されている数字の合計が100%にならない場合があります。

◆過去3か月間のパフォーマンス分析

当ファンドの過去3か月の収益率はマイナスとなり、ベンチマークを下回りました。

過去3か月間の世界の株式市場は下落しました(米ドルベース)。3月上旬は、米国の関税政策や欧米の景気減速への懸念から下落しました。3月中旬には米政府機関の閉鎖回避やドイツの財政改革法案の可決などが好感され反発しましたが、4月初めには、米国が発表した相互関税により世界的な景気減速懸念が強まったことから、大きく下落しました。その後は、米国による相互関税の上乗せ分の90日間停止が発表を受けて上昇に転じました。基準価額は、保有銘柄の値下がりや円高米ドル安がマイナス要因となりました。

ベンチマークとの比較では、金融セクター、情報技術セクター、ヘルスケア・セクターでの銘柄選択などがマイナス要因となりました。

■当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式・公社債など値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き(外貨建資産に投資する場合には為替リスクも有ります。)により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。投資信託が組入れた資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、アライアンス・バーンスタイン株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の運用成果等を保証・約束するものではありません。■当資料で使用している指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ・マザーファンド

◆ファンドの特色

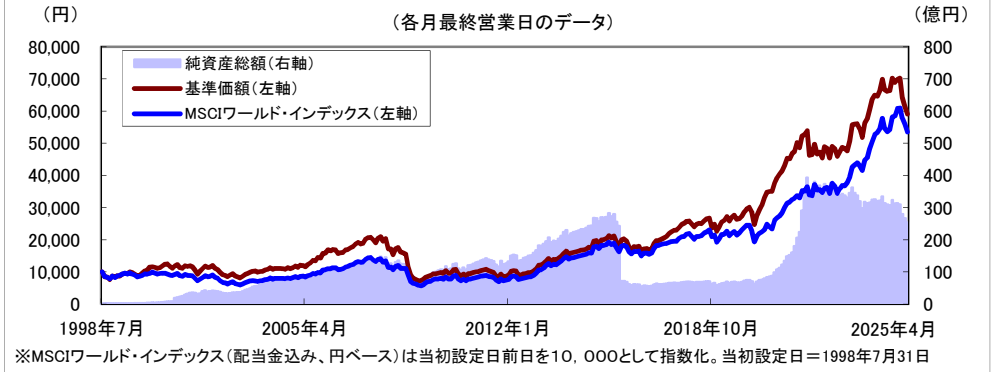
元本確保型の商品ではありません

- ・ 世界各国(日本を含む)の株式市場に分散投資することにより信託財産の成長を目指します。
- ・ 成長の可能性が高いと判断されるセクターにおいて、環境や社会志向等の持続可能な成長が見込まれるサステナブル投資テーマに基づき、魅力的な銘柄に投資するアクティブ運用を行います。

◆基準価額、純資産総額

基準価額	59,068円
純資産総額	253億円

◆基準価額の推移グラフ



◆資産構成

株式	96.1%
株式先物	0.0%
株式実質	96.1%
現金等	3.9%

◆為替ヘッジ

為替ヘッジ比率	0.0%
---------	------

◆ファンドとMSCIワールド・インデックス(円ベース)の収益率とリスク(標準偏差)

	3か月間	6か月間	1年間	3年間	5年間	10年間	当初設定来
ファンド収益率	-15.90%	-15.91%	-8.66%	8.17%	16.41%	11.25%	6.87%
MSCIワールド・インデックス(配当金込み、円ベース)収益率	-12.24%	-8.05%	0.42%	14.63%	20.44%	11.20%	6.47%
差異	-3.66%	-7.86%	-9.07%	-6.46%	-4.03%	0.04%	0.39%
ファンドリスク	—	—	14.71%	15.69%	16.39%	17.20%	19.46%
MSCIワールド・インデックス(配当金込み、円ベース)リスク	—	—	14.71%	14.33%	14.72%	16.40%	18.07%

\* 3年間、5年間、10年間、当初設定来のデータは年率換算。

◆株式国別配分上位

国	組入比率
1 アメリカ	55.4%
2 ブラジル	7.4%
3 イギリス	6.7%
4 カナダ	4.3%
5 日本	4.2%
6 スイス	3.2%
7 アイルランド	3.0%
8 台湾	2.7%
9 香港	2.0%
10 オランダ	1.8%

◆株式業種配分上位

業種	組入比率
1 情報技術	31.2%
2 資本財・サービス	19.6%
3 金融	17.4%
4 ヘルスケア	13.9%
5 一般消費財・サービス	6.3%
6 公益事業	5.0%
7 エネルギー	2.7%
8 -	-
9 -	-
10 -	-

◆株式組入上位10銘柄

銘柄名	組入比率	国
1 マイクロソフト	3.7%	アメリカ
2 ロンドン証券取引所グループ	3.0%	イギリス
3 メルカドリプレ	2.8%	ブラジル
4 台湾セミコンダクター	2.7%	台湾
5 フレックス	2.7%	アメリカ
6 カメコ	2.7%	カナダ
7 アルコン	2.7%	アメリカ
8 サンパウロ州基礎衛生公社	2.6%	ブラジル
9 ファイサーブ	2.4%	アメリカ
10 ベラルト	2.4%	アメリカ

(組入銘柄51銘柄)

※国別配分は、発行体の国籍や事業基盤等を考慮して区分しています。  
※株式業種配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

※上記銘柄は当ファンドの運用内容の説明のためのものであり、アライアンス・バーンスタイン株式会社が推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。  
※比率はそれぞれの項目を四捨五入していますので、表示されている数字の合計が100%にならない場合があります。

◆過去3か月間のパフォーマンス分析

当ファンドの過去3か月の収益率はマイナスとなり、世界の株式市場の動きを表すMSCIワールド・インデックス(配当金込み、円ベース)を下回りました。

過去3か月間の世界の株式市場は下落しました(米ドルベース)。3月上旬は、米国の関税政策や欧米の景気減速への懸念から下落しました。3月中旬には米政府機関の閉鎖回避やドイツの財政改革法案の可決などが好感され反発しましたが、4月初めには、米国が発表した相互関税により世界的な景気減速懸念が強まったことから、大きく下落しました。その後は、米国による相互関税の上乗せ分の90日間停止を受けて上昇に転じました。基準価額は、保有銘柄の値下がりや円高米ドル安がマイナス要因となりました。

MSCIワールド・インデックス(配当金込み、円ベース)との比較では、金融セクター、情報技術セクター、ヘルスケア・セクターでの銘柄選択などがマイナス要因となりました。

■当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、株式・公社債など値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。投資信託が組入れた資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、アライアンス・バーンスタイン株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の運用成果等を保証・約束するものではありません。■当資料で使用している指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。